

日刊建設通信新聞（2022年7月11日付1面掲載）

【オリコンサルグローバル ジャカルタのTOD共同で促進 MRT Jakarta社と覚書】

## ジャカルタのTOD共同で促進 MRT Jakarta社と覚書

オリ  
コン  
サル  
グロ  
ーバ  
ル



オリエンタルコンサルタンツグローバルは7日、インドネシアのジャカルタ特別州でMRT（都市高速鉄道）を運行するMRT Jakarta社とジャカルタでのTOD（公共交通志向型開発）促進のための協力に関する覚書を交わした。今後、9月に東京で開催予定のインドネシア国主催によるジャカルタTOD国際フォーラムを支援するなど、MRT Jakarta社とTOD分野での連携を深めていく。

オリコンサルグローバルは、1980年代からジャカルタ首都圏の交通マスタープラン策定をはじめとする数々の交通ネットワーク構築事業に携わってきた。直近ではMRT Jakarta社が運営するジャカルタ都市高速鉄道南北線フェーズ1の入札支援・施工監理業務、南北線フェーズ2の設計・入札支援・施工監理業務、東西線の設計業務を実施しており、2019年3月には南北線フェーズ1が開業している。TODなどジャカルタ特別州の都市計画・都市開発に対しても専門家を派遣するなど積極的に支援。こうした実績から、州知事令によりMRT沿線でのTODのマスターデベロッパーに指定されているMRT Jakarta社のパートナーに選ばれた。

MRT Jakarta社が同日、ジャカルタで開いたTODフォーラムには、同社のウィリアム社長、ファルハードTODダイレクター、オリコンサルグローバルの長谷川靖典ジャカルタ事務所副所長らが参加し、ジャカルタ特別州のアニス知事や在インドネシア日本大使館の田村政美次席公使らの立ち会いの下、覚書に署名した＝写真。